

綿繰り・糸紡ぎワークショップ

ID 0353517

綿繰り機で取り出した綿や、紡いだ糸を材料に、簡単なお守りを作ります。

- と き** 10月24日(土) 午前10時30分～、午後1時30分～
- と ころ** 2階研修室
- 対 象** 小学生以上の方
- 定 員** 各5人(定員を超えた場合は抽選)
- 参加費** 300円
- 申し込み** 10月17日(土)までに直接、電話、インターネットで博物館へ。



企画展

文化財が語る地域のすがた

ID 0353518

地域を語るうえで必要不可欠な文化財を、地区ごとに紹介し、その重要性を見つめなおします。

- と き** 10月17日(土)～11月23日(日)
- と ころ** 1階特別展示室

【ギャラリートーク】

- 11月7日(土)午後1時30分～2時30分
- 学芸員による展示解説



竹島水族館 Aquarium ☎ 68-2059

館長の
ひやりん



小林 龍二

尊敬してやまない坂本龍馬の言葉に「世の人は我を何とも言わば言え、我が成す事は我のみぞ知る」という言葉があるのですが、たまにボーツと考えるをしていたり、いきなり突拍子もないことを発案したり実行したりするので、職員たちから「館長は何を考えているのかよくわからない」と大変失礼なことを言われるのですが実際、何も考えていないことも多々あります。

竹島水族館でも、館長の私でさえ何を考えているのか全くわからない生き物がいます。それがカピバラです。カピバラは毎日ジッと前を向いて止まっていたり、たまにゴロゴロしていたりと、ケツを引っ叩いてやりたくなる生活をしているのですが、何を考えているのかわかりません。表情がなく、嬉しいのか悲しいのか不明。たまに、仕事帰りに電車の中で虚空を見つめ、魂が抜ける寸前のサラリーマンのおじさ



常に平常心のように見えて実はいろいろ考えていそう？

んのような態度をしていることがあります。これに比べ、アシカやカワウソは表情があり、アシカなどは毎日一緒にいると何を考えているのかほぼわかります。魚だってカニだって何となく考えていることはわかりますが、カピバラは謎です。毎日世話をしている担当の飼育員に聞いても、イマイチわからない、と言います。カピバラからしてみれば「我のみぞ知る」なのかもしれませんが、ぜひカピバラに会いに来て、無表情な彼らと見つめ合い、彼らが何を考えているのか観察することによって自分の「我が成すこと」の何かしらのヒントを探っていただければと思います。